

平成21年7月14日
全国健康保険協会
運営委員会資料平成20年度全国健康保険協会決算報告書の概要
(平成20年10月～平成21年3月)

- 協会けんぽの収入は4兆5,343億円となっており、その主な内訳は、保険料等交付金が3兆2,916億円(72.6%)、承継保険料が5,926億円(13.1%)、任意継続被保険者保険料が382億円(0.8%)、国庫補助金・負担金が6,072億円(13.4%)等となっています。
- 協会けんぽの支出は4兆5,669億円となっており、その主な内訳は、保険給付費が2兆4,941億円(54.6%)、後期高齢者支援金等の拠出金等が1兆6,816億円(36.8%)、介護納付金が3,455億円(7.6%)、業務経費・一般管理費が428億円(0.9%)等となっています。
- 協会けんぽの財政収支については、政府管掌健康保険において運営されていた平成19年度に引き続き、赤字基調となっており、326億円の赤字となっています。
平成20年度の予算時の想定よりも保険給付費が増えるとともに、厳しい経済情勢のもと、保険料収入が減少したことが、収支の赤字の主な要因となっています。

(単位:億円)

		20年度予算(①)	20年度決算(②)	差額(②-①)
収 入	保険料等交付金	34,500	32,916	▲ 688
	承継保険料	5,030	5,926	
	任意継続保険料	335	382	
	国庫補助金等	6,104	6,072	▲ 32
	その他	89	47	▲ 42
	計	46,058	45,343	▲ 715
支 出	保険給付費	24,138	24,941	803
	拠出金等	16,647	16,816	169
	介護納付金	3,430	3,455	25
	業務経費・一般管理費	601	428	▲ 173
	その他	58	29	▲ 29
	予備費	200	0	▲ 200
計	45,074	45,669	595	
収支差(翌年度繰越)		984	▲ 326	▲ 1,310

1. 上記は平成20年10月～平成21年3月までの協会けんぽの収支状況を示したものであり、平成20年度を通じた全体の収支の状況については、さらに国の決算を踏まえる必要がある。
2. 計数は、四捨五入のため一致しない場合がある。
3. 予算と決算の差については予備費分(200億円)を考慮すると1,510億円となる。